日の出町

発行：日の出町農業委員会
TEL：042-597-0511（内線246）

ひので大地

２４号
令和２年７月発行

平井中野の水田の風景

日の出町イメージキャラクター　「ひのでちゃん」

おもな記事

＊日の出町の農業を取巻く現状について　・・P2
＊令和２年度活動方針　・・P2
＊令和元年度活動実績　・・P2
＊第61回東京都農業委員・農業者大会が開催されました　・・P3
＊感謝状受賞者紹介　・・P3
＊議会町民懇談会に参加（町議会議員と意見交換会）　・・P4
＊特産品紹介　・・P4
＊認定農業者紹介　・・P4

日の出町の農業を取巻く現状について

日の出町の総農地面積は、約162haであり、うち市街化区域内農地は33haです。毎年、約1haずつ農地が減少しています。農地減少の主な原因は、市街化区域内農地が相続等により売却され、住宅用地等に転用されているためです。

農業産出額については、約279百万円で、5年前と比べると約7百万円産出額が下がっています。

その様な中、現在、認定農業者が17名、認定新規就農者5名の方が、日の出町農業の主力を担って頑張っています。

このような現状を踏まえ、農業委員会として、限られた農地を有効に活用できるように取り組んでまいります。

総土地面積	2,807ha
総　人　口	16,959 人
総農家数	239 戸
農 地 面 積	162.4ha
市街化面積	33.3ha
調整区域面積	129.1ha

平成３０年度　東京都の地域・区市町村農業データブック（一般社団法人　東京都農業会議）による

令和2年度活動方針

重点活動

①耕作放棄地の解消と発生防止

すべての耕作放棄地の解消を目指し、日々の見回りを通して地域の耕作状況を把握し、耕作放棄地の情報を共有するとともに、その要因を確認し、利用促進に向けた活動に重点的に取り組む。

②農地の利用最適化の推進

農地の利用最適化の推進への取り組みとして、農地利用状況調査等により把握した遊休農地等の活用を図るため、認定農業者等の担い手に対し、農地の利用権設定を進める。

③地産地消の推進

農業者が新鮮で安心安全な農畜産物を地域住民へ供給することを促進するため、JAあきがわと連携協力して「日の出町ふれあい農産物直売所」の運営管理を支援していく。また、学校給食の食材として地場野菜の供給についても関係機関と協調して推進していく。

令和元年度　活動実績

令和元年度は、活動方針に基づき、総会を12回開催しました。

平成28年度から実施している農地パトロールについては、70筆について、遊休化のおそれがある農地として指導を行い、農地についての情報を収集し、認定農業者や新規就農者へ、農地の貸し借りの斡旋を行い、累積で約5.6haの農地の貸出しを行いました。

食育の一環として、町内園児を対象とした大根の栽培体験を昨年度も実施しました。

法　令　別　項　目	件数
農地法第３条	２件
農地法第４条（申請）	２件
農地法第４条（届出）	８件
農地法第５条（申請）	２件
農地法第５条（届出）	２７件
農業経営基盤強化促進法（利用権設定）	９件
相続税等納税猶予に係る適格者証明の発行	０件

平成３１年１月～令和元年１２月までの集計による。

農地パトロール事例紹介

当該地は、平成28年度より指導していた遊休農地で、文書指導等を行い、地権者とのヒアリングを行い、農業経営の規模を拡大したい担い手へと貸し出した農地です。

担い手が、東京都の補助事業を活用して、遊休農地から作付けができる農地へと再生し、農地の有効利用が図られました。

東京都の補助事業を活用して、伐採抜根、整地を行い農地へ復元されました。

長期に渡り栗の木等がうっそうとしていた農地。

第61回東京都農業委員会・農業者大会が開催されました

令和２年２月20日に、第61回農業委員・農業者大会が昭島市で開催されました。

大会には、前回の大会に引続き小池都知事が出席し、祝辞を述べられました。

大会では、東京農業の確立に関する要望、都市農業の振興と都市農地保全に関する要望、農業委員会活動の積極的推進に関する議決が全会一致で採択されました。

第46回農業功労者感謝状受賞者紹介

山﨑（やまざき） 陽一郎（よういちろう） 氏に農業功労者感謝状が送られました。

山﨑氏は、ふれあい農産物直売所の立ち上げに尽力され、日の出町の農業に多大な貢献をされました。

議会町民懇談会に参加（町議会議員と意見交換）

１月27日、議会町民懇談会が開催され、町議会議員と農業委員が意見交換をしました。

町議会議員の皆様方から、直売所に加入する生産者の高齢化や減少に対する懸念、鳥獣による農産物被害等に関する意見、質問があり、農業委員から、新規就農者の現況、ＪＡあきがわ管内３直売所の流通自由化後の状況、鳥獣被害対策や補助制度等についての説明をしました。

定年等就農セミナーについて

定年等で退職され、農業を継承される方を対象に、実技中心の研修を行います。

対　象：概ね６５歳未満で、５ａ以上の農地を所有し、販売農家を目指す方、販売を始めた方。
受講料：無料
問合せ先：東京都西多摩農業改良普及センター
電話　：0428（32）1544

農地を耕作する皆様へ

農地法第２条の２で、農地の適正かつ効率的な利用を確保するように定められています。トラクターに付着した土や刈払いをした草を道路等に出さないように気を付けましょう。

令和２年度農業委員会活動予定

4月27日　第4回総会
（第4回は、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止）
5月25日　第5回総会
6月25日　第6回総会
7月上旬　農地パトロール
7月27日　第7回総会
8月25日　第8回総会
9月上旬　園児大根栽培体験事業
9月25日　第9回総会
10月上旬　園児大根栽培体験事業
10月26日　第10回総会
　相続税納税猶予対象地パトロール
11月25日　第11回総会
12月25日　第12回総会
1月25日　第1回総会
2月18日　第62回農業委員会・農業者大会
2月25日　第2回総会
3月25日　第3回総会

農地を農地以外にする場合には、農地転用の許可が必要となります。許可を得ない転用は違法です。
詳しくは、農業委員会事務局までお問合せ下さい。

～特産品紹介～

日の出町の特産品の一つとして果樹のブルーベリーがあります。生産組合を組織し現在９戸の農家が観光農園やジャムの原材料、直売所での販売などを行っています。

主な品種はラビットアイ系とサザンハイブッシュ系です。多くの品種を試験栽培し日の出町の気候に適した品種を選定しました。

生産組合では剪定講習などを行い農家の生産技術向上や、ロゴシール等を作成しブランド化を進めています。

ブルーベリーは5月初旬から花が咲き、早い品種で6月から収穫が始まります。この時期、直売所に毎年たくさんのブルーベリーが店頭に並びます。また、ひので肝要の里は農家が収穫したブルーベリーを加工しジャムを製造しています。ブルーベリーの他は砂糖とレモン果汁だけのため、ブルーベリー本来の味がする人気の商品となっています。

農作物被害対策の基本

獣害被害を減少させるには、まず、鳥獣を寄りつかせない環境づくりが基本となります。草刈り等を行い、収穫残渣や生ごみなどを放置しないようにしましょう。

町では、簡易電気柵の貸出事業を実施しております。詳しくは、産業観光課農林振興係まで℡（597）0511 内線245・246

熱中症に注意しましょう

①こまめに水分と塩分を補給しましょう
②家族に作業場所と帰宅時間を伝え、なるべく複数人で作業しましょう。
③通気性がよい服装や帽子等で、直射日光を避けましょう。

学校給食における地産地消の取り組みについて

日の出町の学校給食では、給食を通じて、食育の一層の推進や、地産地消に取り組んでいます。

昨年度は、4,695ｋｇの地場産野菜を学校給食として提供しました。

認定農業者紹介

原島（はらしま） 克佳（かつよし） さん

原島さんは、露地栽培とパイプハウスを利用して、様々な野菜を生産し、日の出町ふれあい農産物直売所に出荷されています。

また、学校給食への出荷にも積極的に取り組まれています。

平井三吉野油田で、紅白のトンネル資材を活用して、枝豆栽培を行う原島さん。

編集後記

新型コロナウイルスが猛威を振るう一方で、新鮮な農産物を求める消費者のニーズが増え、直売所の売上は前年よりも増えています。農業委員会として、安定して農産物の供給ができるように今後とも農地保全に取り組んでまいりたいと思います。

編集委員
矢治一俊
宮岡進
松本哲男
青木崇

お問合せ
農業委員会事務局
℡（597）0511 内線246

農業委員会への申請の締切は、毎月15日（土日祝日の場合には、その前日まで）となります。

人事異動のお知らせ

令和２年４月１日付の人事異動で、布田係長が異動され、新たに小林係長が就任されました。